



書家 加藤裕さん作『久遠』

真宗高田派
賢隆山久遠寺

〒460-0007

名古屋市中区新栄1-4-6

Tel & fax 052-241-5231

www.kuonji.net

kenryuzan-kuonji@nifty.com

久遠寺住職の

いま不思議ないのちを生きている!



あつという間に正月も過ぎ、桜の季節もすぐそこまで近づいて参りました。二月の大雪では、被害が予想されなかった地域でありえないような事態が起り、ライフラインや物流システムが、見事に断絶されました。近來、科学の進歩によつて何でもできると思っていたことが、一つの自然現象によつて打ち砕かれ、多数の人々を孤立させてしまいました。当たり前と思っていたことが、実は当たり前ではない事が明らかにされ、人間関係においても、無差別に殺したかったというような事件も起き、何が起きても不思議ではない事態に直面しております。自然の環境においても、自然を破壊し利用し、人間が第二の自然を作ろうと、人間自身のおごりと慢心が見え隠れしています。全ての人のつながり(縁)に於いても、互いの言葉での会話を通じて自身自身の立場を確認し、尊敬し合える社会でありたいものです。

人間は辛い目、苦しい目に遇わないと本当の自然への有難さや人との関わりが薄れて、自分自身の存在自体が分からなくなり、甘えがあつたり、引きこもつたり、あつ驚くような行為にでるのではないのでしょうか。

お釈迦様が「天上天下唯我独尊」と告白され、「この世で本当に尊いのちを私は賜つた」と宣言されました。ですから、全ての人々が尊く、必要とされていくのちであります。いろいろな問題を抱え、事実を受けていく道を示して下さいました先輩の教えに耳を傾けたいものです。

お釈迦様は、二月十五日、沙羅双樹の下でに十年で生涯を終えられました。裕福な国王のもとに誕生され、人生に「疑」を持ち、四苦八苦、八正道、四諦、三法印 諸行無常・諸法無我、涅槃寂静」など、沢山の教えを残して下さいました。その中で、仏教の旗印として三宝印があり、この世に存在せしめる不変なる真理「法、即ち諸行無常 過去、

未来、現在、古今東西の処を越え、時を越え、不変なるものである」と縁起の法則を発見されました。

親鸞聖人は、弥陀は自然のはたらきを知らせる為のものである」と、我が身は自ずからしからしめられる存在であり、あらゆる条件で生かされていく、とお教え下さっています。人間は自分の考えに執られる故に、苦悩が生じ、法に反逆している人間に、法に目覚めさせ、法に生きる道を証明されました。

法「真理に従つて、今ここに生きてゆく」とする時、そこに教えがあり、それが仏教となり、仏法の教えとなつて、本当の事が分からない人生の導きとして照らされ、自分の本性が明るみになるのでしょう。そして、読誦 目で読み、声を出して読むことこそ、經典の意義でありましょう。

またこのように法を求め、法に生きられた覚者の文字を読誦すると、人間のおごりと慢心が自然の生態系を破壊していることに気付かされます。しかしながら、經典は法に背いている我が身の罪を懺悔し、慚愧の念を抱いた時、身も心も喜び、相手を尊敬しあえる真実なる人生を教えて下さっているのです。

最後に、お釈迦様三十五歳の時のお言葉を紹介します。

我が生ずるに尽き 梵行すでに立つ
所作すでになし 自ら後有をうけずと知る

そして、親鸞聖人のお言葉。
雑行を捨てて本願に帰す」
を読誦して下さいませ。

久遠寺住職 高山元智 合掌

おあじわい

～ほうごカレンダーからいただく～

四月

一切は

縁におおて生まれる

縁においてあり

縁におおて去っていく



すべての存在するものは縁(条件)によって成り立っています。また条件によって変化し(諸行無常)、事実によって繋がっています。

網の目のように関係して存在しているものが縁、テレビで報道している「ご縁です」も見知らぬ場所を尋ねて、一人一人の存在を確認しております。そこには、とろどろに因があり、それが結果縁となり、人との出逢いがあるわけです。故に、出会うことにより自分自身を確認し、別離により悲しみも伴うけれども、人とのつながりが深くなってくるのではないのでしょうか。

全てのものは縁によって生じ、縁によって滅びます。偶然ではなく必然の事実として、その事実を受け入れられることが大切なのでありますよ。

五月

きのう聞くも

今日また聞くも

せむに來いどの

およびごえ



山口県六連島に住んでいたお軽さんのお言葉であります。

彼女は気性が激しく、結婚しても夫との関係はおもしろくなく、自分自身の存在を認めてもらえない苦悩の人生でありました。

教えを聞いても自分自身の気休めであり、心の安心は得られなかったそうです。そんなある時、病気にかかりました。そこで、いかに自分の思いが中心で、自分の都合でしか教えを聞いていなかったと目覚めたそうです。自分の思いが死んで他との関係は、私の為の願いであったと聞こえる。と同時に、慚愧の念を抱き、私を呼び覚ます声を聞かれたのでありますよ。

六月

深い悲しみ

苦しみを通す

見えてくる世界がある

見えてくる世界がある



この方は四十一歳という若さで、病に倒れられた寺の坊守さんのお言葉です。

人間はいろいろな苦しみ悲しみを通さなければ本当の姿は見えてきません。そして、そのまま悩み続けた結果、善き人の教えを聞けば聞くほど、実は自分自身の本性を知らせてもらえます。

苦悩が私を救ってくれるタネとなり、人として事実を受け入れることができ、まかせられるはたらきに出遇わせてもらうのでありますよ。

全身麻酔で手術台上に上がった時は、自力無効でただお任せであります。結果はどうなるかわかりませんが、不思議ないのちを賜っているのです。

『一光三尊仏御開扉法会』

来る平成26年4月3日から11日のまでの期間、高田本山専修寺にて『一光三尊仏御開扉法会』がお勤めされます。ご開扉は十七年に一度のみで、この大変貴重な縁に遇い、皆様と一緒に参拝したく存じます。

- 期日 4月11日 金曜日
- 集合場所 久遠寺本堂
- 集合出発 午前9時頃
- 解散予定 午後5時頃
- 参加費 お一人五千円 (昼食付)
- 申込方法 電話もしくはLINEにて受付
- 定員 50名(先着順)
- ※まだ空きが少し御座います。
- ※お早めにご連絡下さいませ。



『一光三尊佛』とは、親鸞聖人が高田の地にて夢のお告げを受け、信濃善光寺で分身像を頂戴した仏様のことです。そして、「直拝」のご本尊とされ、17年に一度の秘仏公開となっております。もし今回無理なら、次の公開を待つと幾つになりますか？是非ご参加下さい。



久遠寺の掲示板



久遠寺正門に設置してある掲示板法語は月に二回ほど更新しております。久遠寺にお参りされるお気持でお味わい下さい。



道は
近き
にあり
速
え
る
人
は
そ
れ
を
遠
き
に
求
む
清
次
燭
之

《古本勸進vol.2で集まった段ボール30個ほど》

『古本勸進』第二弾のご報告

昨年12月から今年1月末日までの期間で『古本勸進』を行いました。毎度皆様の協力には感謝の念が堪えません。皆様方からのお力添えを頂戴し、無事寄付できましたことを報告致します。

今回、久遠寺で集荷いたしました総書籍数・総業書数 寄付金総額は、以下のようになりました。

総書籍数 1,277冊
総業書数 972枚
寄付金総額 73,339円

全て社団法人「お寺の未来」からバリエーションブックを社を通し東北の子供達へ学習支援金として寄付させて頂きました。ご協力いただき、誠に有難う御座いました。今後も皆様のお気持を繋ぎたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

合掌

『古本勸進』勸進者(お順)

- | | |
|---------|----------|
| 安藤 幾子 様 | 鈴木 量子 様 |
| 石原 保 様 | 高柳 不みえ 様 |
| 伊藤 暢克 様 | 竹森 明 様 |
| 内海 裕子 様 | 田中 千鶴 様 |
| 大脇 政子 様 | 古川 茂芳 様 |
| 加藤 裕 様 | 林 幸子 様 |
| 後藤 孝 様 | 三輪 田高光 様 |
| 白山 光朗 様 | 森 八百一 様 |
| 志水 喜吉 様 | 山田 祐士 様 |

『未来の住職塾』で学んだこと

昨年から通っていた『未来の住職塾』。宗派を超えて幅広い年齢層の寺院関係者が、年5回の講義とワークと呼ばれるディスカッションを交えながら、今後寺が元気になるにはどうしていいのかが、経営学の本、勉強して参りました。

『経営学』と言いつつもお金の話は一切なく、今現在の寺を見つめ直し、磨きをかけた時、気持ちの変化をもたらしたり・・・様々な刺激と気づきを頂戴してきました。

そしてここで学び、掲げた久遠寺の使命は、
「あなたがどう、すみません、おかげさまで伝え、あなたとわたしたちの心がぬくぬくと笑顔になれる寺を見据えます。」

と、いつのことです。

「ありがたう、みんな私でも救って下さるといふ、仏様の有難いおはたらきを讃えること、すみません、自分自身への問いかけや内省、おかげさまで、先人たちの愛を偲び、今こうしておられる御恩感謝することを大切に互いに伝え合い、そして久遠寺を縁とする方々の二ころがとも親身に温かく、笑顔になれる寺を今後、作っていきたいと強い決心をもって掲げました。

今後、変わらぬより一層のご指導を宜しくお願い申し上げます。

南无阿弥陀仏
衆徒 高山信雄



久遠寺のfacebookページのご案内

久遠寺ホームページ、ブログ『シュリハンドカ』に続き、facebookページ『賢隆山久遠寺』を開いたしました。基本はブログを中心に投稿致しますが、久遠寺のタイムリーな動きが毎日手に取るようになります。

是非、お身内にfacebookのことをご存知の方がお見えでしたら、『賢隆山久遠寺』のページに「いいね」をして下さい」とご案内下さいますことをお願い申し上げます。



久遠寺の日日是好日



【フリスタ僧侶限定配布】 【400年前の軸を修理】 【境内は仲良くお掃除！】 【若坊守、和菓子特訓中】 【蓮の植替をしました！】

編集 後記



蓮の植替えをしました。しかし、なぜ蓮を植えるお寺は多いのでしょうか。蓮は、仏様を現してあります。過去をあらわすハチマ、現在の法輪の花、未来のつぼみ、それぞれ三世を表現し、常に私たちに問いかけてくださいます。

高原陸地不生蓮
卑湿淤泥生蓮華
此喻凡夫在煩惱
泥中生佛正覺華

蓮は高原のような硬い土では咲きませんが、汚いドロドロの土の中で根を張り、きれいな花を咲かせます。その泥こそ、私たち凡夫の煩惱であり、その煩惱ばかりの私たちを救おうとされる仏様のおことろ、はたらきこそ蓮の花のようである、とお教え下さっています。

寺の楽しみも一つずつ増やしていきたいです。また開花時期 七月〜八月には是非、ご来寺ください。

南无阿弥陀佛
衆徒 高山信雄

- ◎ 久遠寺ホームページ＆ブログ『シュリハンドカ』 & facebookも随時更新中です。
- ◎ 古本と葉書は随時回収しております。是非「古本勸進」東北支援にご協力下さい。
- ◎ お経本・お念珠は大切なものです。床に直接置かないように気を付けましょう。

是非お揃いで御参詣ください。	5月21日(水) 午後1:30~	4月21日(月) 午後1:30~	4月11日(金) 午前9時出発~午後5時解散	3月27日(木) 午後1:30~	3月21日(金) 午前9~12時	
	真宗入門法話会 ④ 和讃のこころ 『とくち法話集』から 〜凡夫〜	真宗入門法話会 ③ 和讃のこころ 『とくち法話集』から 〜二種深信〜	久遠寺団体参拜 ※僅かに空席がありますので、ご希望の方は連絡ください。	一光三尊仏御開扉 慶讃法会	真宗入門法話会 ③ 和讃のこころ 『とくち法話集』から 〜往還二廻向〜	讚佛会 お彼岸 墓参り
	久遠寺	久遠寺	高田本山専修寺	久遠寺	平和公園	
	今後の予定					